



# 森下ゆきやす 桑名市議会議員 活動レポート

2021.01  
VOL.01

2018年 桑名市議会選挙に出馬し初当選（現在1期目）。  
持続可能な桑名市をめざし、「誰ひとり取り残さない市政」を実現するために、  
市民のみなさんの代弁者として、市民の声・地域の声をしっかりと行政に届けます。  
次世代の桑名を生きる子どもたちのため、精一杯生きてきたお年寄りが安心して暮らせる  
まちの実現のため、ぜひ皆様の声をお聞かせください。

プロフィール

1976年12月7日 桑名市赤須賀生まれ（44才）  
<学歴> 城東小学校、陽和中学校、桑名高校、  
中央大学法学部法律学科 卒業  
<現在> 保護司・桑名市消防団 第4分団団員・  
行政書士・桑名高校PTA役員 他



HOME PAGE

## 桑名市の新型コロナウイルス感染症への対応

桑名市では新型コロナの感染の拡大以降、定例議会だけでなく4回の臨時議会を開催し、行政と議会だけでなく、医師会や商工会・商工会議所などの団体とも連携して迅速に対策を講じてきました。桑名市が独自で行なってきた対策の主なものをご紹介します。

※記載している金額は、国や県からの補助を含まない桑名市の財源から計上した金額です。なお、実際に執行した額ではなく、補正予算として計上した金額を記載しています。

### 4月臨時議会(4月3日開会)

1億5,852万円

飲食店で使用できる「プレミアム付き食事券」の発行(1億5,400万円) / 介護施設や保育所・学童保育等へのマスク・アルコールの配布 / 売上が減少した小規模事業者への特例融資の利子補給



### 9月定例議会(9月2日開会)

4億3,548万円

市内事業者等における感染拡大防止対策等への補助(2億500万円) / PayPayポイント還元(1億1,468万円)、プレミアム付商品券への補助(6,200万円) / 再び休校となった場合の対応のために小・中学校へのデジタル教材の導入 / 障害のある児童生徒が学習機会を奪われることのないように学習支援のための機器を導入 / 救急出場体制への影響を防ぐために緊急車両等の除染装置の購入 / 市役所窓口のキャッシュレス化 / 職員のテレワークの環境整備等



学習支援のために導入した分身ロボット

### 5月臨時議会(5月1日開会)

1,678万円

応急診療所に県内最初のドライブスルー方式のPCR検査センターを設置 / 児童・生徒への就学援助費の予算追加 / 採用内定を取り消された方などを会計年度任用職員として市で採用すること(5名程度) / 緊急で入居できるよう市営住宅の改修を実施  
また、市長や市議会議員等の期末手当や政務活動費の減額(総額1,140万円)を決定



応急診療所に設置されたPCR検査センター

### 12月定例議会(12月9日開会)

1億3,477万円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの同時流行に備え、高齢者のインフルエンザ予防接種を無料化(6,771万円) / 市内の医療機関の受診体制を拡充するため、適切な診療及び検査を実施した市内医療機関に1件あたり1万円を支給(3,065万円) / 新たな販路開拓や付加価値の向上に取り組む沿海漁業協同組合に、県の補助事業と協調して支援金を支給(1,000万円) / 避難所での感染症対策強化の資材を保管するために防災倉庫を6箇所設置(413万円) / NTNシティホールやくわなメディアライヴ・多目的ホールでのWEB会議やオンライン配信等のためにインターネット環境を整備 / 桑名保健所・桑名医師会と連携してPCR検査体制を整備するためのPCR検査委託料 / 図書館での対策として除菌機等を、中央図書館に加えてふるさと多度文学館・長島輪中図書館に導入等



### 5月臨時議会(5月15日開会)

1,267万円

行政書士会の協力によりコールセンターを設置し無料電話相談を実施 / 避難所にマスク・手指消毒液・ビニール手袋および非接触型体温計を購入 / 学校休校のため給食事業者への食材のキャンセルや給食再開に向けた補助金等  
また、財政調整基金や市長・議員等の手当等の減額分などを活用して「桑名市新型コロナウイルス感染症緊急対策基金」を設置(11億1,140万円)



行政書士会によるコールセンター

### 6月定例議会(6月10日開会)

4億7,381万円

水道の基本料金4ヶ月分を無料化(2億7,011万円) / 県と協調して中小企業等に「三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金」を交付(市負担分1億8,082万円) / 市内の各種福祉施設や医療機関・学校等で必要となるマスクやアルコール消毒液を配布 / 救急隊員用の感染防止用ジャンパー・ズボン等の更新等

### 8月臨時議会(8月6日開会)

2,579万円

継続的な地域医療体制の確保のため桑名市総合医療センターに対する交付金(2,000万円) / 感染拡大防止及び利便性向上を図るため、保育所の入所申請・面談等をLINEで可能にするための費用(579万円)



LINE桑名市公式アカウント

ここで挙げた以外でも、桑名市では国や県の動向にいち早く対応してきました。一人あたり10万円が支給された「特別定額給付金」は県内トップクラスのスピードで給付を行い、ワクチンの接種に向けてもいち早く専門部署を立ち上げるなどの対応を取っています。

私自身も市内をまわって市民の皆さまや様々な団体の状況をお聞きし、対策に反映させてまいりました。また、議員の期末手当と政務活動費の減額の合意を得るために、会派の先輩議員とともに他の議員に折衝を行い、賛成多数で可決することができました。議員としての活動以外にも、生活に大きな影響を受けている世帯への食糧支援や、地域の高齢者の生活支援等の活動も行っています。

## 一期四年の半分が経過しました



2年前の市議会議員選挙で市民の皆様の信任をいただけてから、あっという間に2年が経過しました。無我夢中で突っ走ってきた2年間でしたが、その間皆様へのご報告が遅れてしまったことを改めてお詫び申し上げます。  
日々たくさんの方々から支えて頂き、多くのことを学ばせて頂きながら活動させて頂いております。皆様のご期待にしっかりと応ええる様に、常に初心に戻り、日々精進しながら活動してまいります。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 市長の所信に対し、会派を代表して質疑を行いました

2020年11月29日の桑名市長選挙で当選した伊藤なるたか市長の3期目に向けた所信に対し、会派絆(きずな)を代表して質疑を行いました。



ここでは代表質疑での行政側からの答弁のポイントをご紹介します。詳細はホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



## (1) 新型コロナウイルス感染症対策について

①桑名医師会の協力で応急診療所にPCR検査センターを設置し、総合医療センターとあわせて、感染者の増加に充分に対応することが可能。さらに、多くの診療を行うため、県の指定を受けた医療機関が診療・検査を行った場合、診療体制整備負担金を支払うことができるよう準備を進めている。

また、感染拡大防止と地域経済対策を両立させるために、ワクチンの有効性と安全性が確認され、供給が可能になった際に迅速に接種を受けていただけるよう、準備を進めていきたい。

②悪化した業績の回復を支援する、という基本的な想いに加えて、アフターコロナを見越して、競争力を強化するため「次につながる支援」「アフターコロナでも役立つ支援」をしたいと考えている。中・長期的には、事業承継問題について可能な限り早期に対策を図っていきたい。

## (2) 防災力の強化について

①橋脚15基の内、11基が完成し、今年度は、更に3基を着手しており、完成に向けて着実に事業が進んでいる。この架け替え工事により、渋滞解消による長島地区と桑名地区との円滑な行き来が可能となり、非常時における避難経路が確保される。

②現在優先交渉権者の選定を進めており、プロポーザルの実施あたって、令和4年12月までとしている事業期間についても、改めて工期を設定し、提案するよう求めている。

## (3) スマート自治体への転換について

①自治体クラウドの導入については、国の動向を注視しながら適切に対応し、国が定める標準化の対象でないシステム導入の際には、クラウドサービスや共同利用の検討を行っていききたい。

②今年度、LINEを活用し保育所入所申請を実施し、多くの方にご利用いただいた。その他、オンラインでの住民票の写しの請求及び検診予約を今年度中に開始できるよう準備している。

③DX推進における課題として、市民の皆様が行政参加していただける「全員参加型市政」の実現について、検討を行っていく。

## (4) 安定した財政基盤の確立について

多度南部エリアには物流関連企業の進出が増加している。アクセス道路網の整備が課題だったが、県道2路線の事業化の決定と、大山田パーキングエリアのスマートインターチェンジ化により、改善が見込まれる。

バランスのとれた産業構造を目指し、IT・デジタル関連企業や、脱炭素化企業・ゼロ・エミッション企業など、これからの成長産業と考えられる業種の企業誘致も積極的に推進していききたい。

## (5) SDGsの理念の実現にむけた「新しい福祉のかたち」について

「地域共生社会」は、「インクルーシブ(包摂的)」「ダイバーシティ(多様性)」とともに、「多世代共生施設(仮称)福祉ヴィレッジ事業」における重要なキーワードであり、誰一人取り残さないというSDGsの実現につなげるためには、これらを具現化することが非常に重要だと考えている。多世代共生型施設がモデルとなるよう、施設の運営開始後の展開もしっかりと推進していく。



## これまでの主な一般質問

議会では主に市長から提案される議案(補正予算や条例の制定・改正など)について審議を行います。提案された議案以外にもたくさんの課題があります。

そこで、各議員は議案にはなっていないけれども、市政の重要な課題だと

考えられることを「一般質問」というかたちで行政側に伺いたすことで、議会での議論の壇上に挙げることで、課題の解決を図ります。

ここでは、私がこの2年間で行ってきた一般質問のうちのいくつかをご紹介します。

### 平成31年3月定例会

桑名市のまちづくりにおけるSDGsの取り組みについて、現在市が行っている施策や各種の計画策定に際しての取り組みは？

『桑名市総合計画 後期基本計画』で、SDGsの理念に基づく「誰一人取り残さない社会」の実現を目指すことが掲げられました！

### 令和元年9月定例会

地域の特性に合わせた防災意識の向上、防災訓練の取り組みは？

令和2年10月に長島中部地区(海拔ゼロメートル地域)と星見ヶ丘地区(高台地域)で、市内初の合同防災訓練が実施されました！

### 令和元年9月定例会

行政財産ではない公有地のまちづくりに活用するために、一定の要件のもとで、随意契約で売却できるようにしては？

令和元年10月に「普通財産売却事務取扱要綱」が改正され、まちづくりへの活用のために売却される事例も出てきました！

### 令和2年3月定例会

私立園では副食費の負担が大きくなっているが、幼児教育・保育の無償化後の保育の質の確保についてどう考えているか？

令和2年9月議会で、私立の保育施設に対し、食育推進と給食運営補助として『園児一人あたり300円/月』が決定しました！

持続可能で誰もが安心して暮らせる桑名市を作るために。森下ゆきやすが考える4つの重要指針。

**財政健全化**  
持続可能な市政のベース

**安心・安全**  
暮らしてつづけることのできるまち

**議会改革**  
行政との改革競争を！

**市民自治**  
桑名のことはみんなで決める



HOME PAGE



FACEBOOK



CONTACT

森下ゆきやす事務所

〒511-0033 三重県桑名市赤須賀2118

TEL & FAX 0594-21-6011

Mail yukiyasu@y-morishita.info URL https://y-morishita.info/